

## 甑岳：動植物

甑岳の下部の斜面には、天然記念物に指定されている手つかずの針葉樹林が広がっています。標高の高いところでは、アカマツやモミ、ツガは少なくなり、岩場の土壌をミヤマキリシマ (*Rhododendron kiusianum*) やニガイチゴ (*Rubus microphyllus* L.f.) のように小ぶりで強い植物の茂みに明け渡します。

## 池塘

火口の内部では、南九州唯一の池塘の周りを一面のススキの草原が取り囲んでいます。この池塘にはモウセンゴケやタヌキモ科のミカキグサ (*Utricularia bifida*) など数種の食虫植物が生育しています。また、蛇が頭を上げて攻撃の構えをしている姿に似ていることからマムシグサ (*Arisaema serratum*) と呼ばれる植物も時折見られます。

夏には濃緑色のススキは秋になると見事な銀色に変わります。暖かい時期には、初春に咲く青紫のハルリンドウ (*Gentiana thunbergii*) や、その数週間後に咲く赤みを帯びたピンク色のミヤマキリシマ (*Rhododendron kiusianum*) などの花々も火口内部を彩ります。

トンボもたくさん生息しています。観察眼の鋭い人は、ウスバキトンボやオシオカラトンボ、ルリボシヤンマ、アキアカネなどを見つけることができるでしょう。春になると池塘はヤゴやゲンゴロウで賑わいます。甑岳ではカケス、カッコウ、ウグイスなど、霧島錦江湾国立公園全域に生息する鳥類が見られます。

## 変容する生態系

火口全体はアカマツを中心とする樹木によって取り囲まれています。そう遠くないうちに、これらのアカマツは内側に向かって増え続け、火口内を埋め尽くすでしょう。公園内の多くの地域と同様、甑岳は噴火後の植生が徐々に安定に向かって変化している途中の生態系です。